

諸江、浅野川、鞍月 校下(地区)

ともに考えよう まちづくりミーティング

平成29年9月24日(日) 14時00分から
於 駅西福祉健康センター 3階 駅西健康ホール

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

～ 開会前、市政紹介動画の放映 ～

金沢市公式プロモーションムービー
「カラーセオリーフォーカナザワ」
「金沢を味わう、映像で」
「地元プロスポーツチーム応援動画」

今回放映しました市政紹介動画は、
金沢市のHP「いいね金沢」で
ご覧になれます。

- (1) 市長あいさつ
- (2) 地域代表あいさつ
- (3) 進行の説明等
- (4) 地域課題の発表
- (5) 地域課題に対する市の方針等の説明
- (6) 地域課題について討議
- (7) 共通課題について討議
- (8) 市長まとめ など

※ 恐れ入りますが、アンケートにご協力ください。

お帰りの際に、用紙をアンケート箱にお入れください。

金沢市広報広聴課 TEL 220-2348 FAX 220-2030

平成29年度第3回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

提出課題一覧表 1

町会連合会名	諸江地区町会連合会
地域課題	地域安心生活支え合い事業の取り組みについて
課題の内容	<p>諸江地区では、地域の高齢化進展に伴い、増加傾向にある一人暮らしの高齢者、高齢者世帯を支援するため、市の地域安心生活支え合い事業「ほっとネットもろえ」を実施しているところである。</p> <p>当該事業は、市、地区社会福祉協議会と連携し、昨年度から割出町で実施しているが、多くの町会、世帯を抱える諸江地区においては、「ほっとネットもろえ」の実施区域の範囲はまだ狭く、今後、地区全域で実施していきたい。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>「ほっとネットもろえ」の実施範囲を順次拡大し、最終的には地区全域で実施することにより、地域の互助力の向上を図りたい。周知の方法と円滑な実施の方策について知りたい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>地域においては、実施範囲を順次拡大していくために、地区社会福祉協議会と連携し、エリアの住民を対象に、「高齢者等のニーズ調査」と「地域住民のボランティア意識調査」を行っているところである。その結果を踏まえ、拡大していくために効果的なエリアの順番を検討していきたい。</p> <p>今後、実施範囲を順次拡大していく上で、市及び金沢市社会福祉協議会による更なる指導・助言をお願いしたい。</p>

提出課題についての市の方針等 1

地域課題	地域安心生活支え合い事業の取り組みについて
提案・提言等	<p>地域においては、実施範囲を順次拡大していくために、地区社会福祉協議会と連携し、エリアの住民を対象に、「高齢者等のニーズ調査」と「地域住民のボランティア意識調査」を行っているところである。その結果を踏まえ、拡大していくために効果的なエリアの順番を検討していきたい。</p> <p>今後、実施範囲を順次拡大していく上で、市及び金沢市社会福祉協議会による更なる指導・助言をお願いしたい。</p>
市の方針等	<p>諸江地区においては、平成27年度に関係団体による地域見守りネットワークづくり委員会を立ち上げ、町会ごとに事業を推進することとし、平成28年度から割出町町会で、平成29年度から北安江中丁町会、七ツ屋下丁町会、諸江上丁第一町会で、地域住民による一人暮らし高齢者等のサポート体制の構築に取り組んでいただいている。</p> <p>上記4町会でアンケート調査やボランティア募集を行うにあたっては、準備段階から金沢市福祉総務課と金沢市社会福祉協議会が各町会の状況に応じて支援をさせていただいている。今後、各町会におけるボランティアの組織化に向けて取り組みを後押ししたいと考えている。</p> <p>実施町会を拡大するにあたっては、上記4町会と同様に金沢市福祉総務課と金沢市社会福祉協議会が引き続き協力させていただきますので、気軽にご相談いただきたい。また、事業の充実が図られるよう他の地区の参考事例や参考データなどの情報提供も行っていきたい。</p>
担当課	福祉総務課 電話 220-2278

提出課題一覧表 2

町会連合会名	浅野川校下町会連合会
地域課題	「諸江向栗崎線」の交通渋滞緩和について
課題の内容	<p>浅野川校下を縦断する「諸江向栗崎線」の交通量は、「海側幹線道路」の大河端町までの供用開始及び「のと里山海道」の全線無料化による交通量の増加に伴い、大幅に増加している。</p> <p>「諸江向栗崎線」を通過して金沢駅方面へ向かう際、諸江交差点において、「国道8号線」を右折するレーンの距離が短いことに加え、右折専用信号の青点灯時間も短いため、右折自動車が常時渋滞している。これに伴い、直進及び左折自動車も渋滞に巻き込まれることとなり、諸江交差点付近は常に渋滞し、特に、朝夕の混雑時は三ツ屋町交差点まで渋滞が続く。</p> <p>また、朝夕の混雑時は、三ツ屋町交差点から諸江交差点までの区間が渋滞するため、沿線の三口町、問屋町、割出町等から「諸江向栗崎線」へ左折又は右折し、入り込むことができない状況である。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>「諸江向栗崎線」の交通渋滞を緩和するために、各種施策の実施を検討したい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>国道と市道との交差点部の渋滞を緩和するためには、市道部の道路管理者である市と交通規制を行う県警がそれぞれの立場で、様々な施策を重ね合わせていく必要があると考えている。</p> <p>地域においては、諸江交差点部の信号のあり方などについて、金沢西警察署と協議しているところである。</p> <p>市においては、「諸江向栗崎線」の交通渋滞を緩和するために、下記の施策の実施を検討していただきたい。</p> <p>① 諸江交差点部の直進・左折レーンと平行する歩道部分の一部を新たに左折専用レーンとして市が整備し、直進車、左折車の流れを円滑にするとともに、右折レーンを延伸することで、交差点部の渋滞緩和を推進してほしい。</p> <p>② 「諸江向栗崎線」の各交差点部に停止禁止区域を路面標示することで、渋滞時であっても、住宅街から左折又は右折が円滑にできるよう取り組んでいただきたい。</p>

提出課題についての市の方針等 2

地域課題	「諸江向栗崎線」の交通渋滞緩和について
提案・提言等	<p>① 諸江交差点部の直進・左折レーンと平行する歩道部分の一部を新たに左折専用レーンとして市が整備し、直進車、左折車の流れを円滑にするとともに、右折レーンを延伸することで、交差点部の渋滞緩和を推進してほしい。</p> <p>② 「諸江向栗崎線」の各交差点部に停止禁止区域を路面標示することで、渋滞時であっても、住宅街から左折又は右折が円滑にできるよう取り組んでいただきたい。</p>
市の方針等	<p>① 渋滞交差点の改良は、交通の円滑化に寄与することから、現在、策定中の新道路基本計画において、未着手の都市計画道路の見直しや整備に加え、渋滞交差点の改良計画も盛り込むこととしている。</p> <p>ご指摘の諸江交差点は、都市計画道路諸江向栗崎線の未整備区間にあり、主要な渋滞箇所の一つになっていることから、本計画を策定する中で、拡幅も含めて効果的な整備について検討してまいりたい。</p> <p>② 先ずは、路面標示の設置や信号時間の調整などについて関係機関と協議してまいりたい。</p>
担当課	① 道路建設課 電話 220-2316 ② 道路管理課 電話 220-2321

提出課題一覧表 3

町会連合会名	鞍月校下町会連合会
地域課題	鞍月校下(近岡町、御供田町、直江町地域)の治水対策について
課題の内容	<p>鞍月校下の北側は、河北潟から日本海へ流れる大野川があり、その付近は以前、沼田と呼ばれる湿地であった。</p> <p>沼田が雨を吸収し、海へ自然排水していたため、梅雨時のまとまった雨でも、居住地域が冠水することは少なかった。</p> <p>しかし、土地区画整理事業の実施等による都市化の進展とともに、コンクリート化された道路・宅地が増加し、沼田が減少したことにより、地域全体の汲水力の低下が著しく、近岡町町会、御供田町町会、直江北1丁目町会の一部では、雨が降り続けると、早い段階で、道路等が冠水することが多くなった。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>局地的豪雨が頻発するなど、大規模水害の発生可能性が高まる中、鞍月校下(近岡町、御供田町、直江町地域)における治水対策は、地域の喫緊の課題であり、総合的な治水対策を検討したい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>地域においては、日頃から水害に備え、地域でできる水防方法の検討に努めるとともに、地域の防災力を高めるための各種訓練を実施している。</p> <p>治水対策は、地域の喫緊の課題であり、これまで市に対して、陳情を重ねてきた結果、様々な施策を実施していただき、昨年度は鞍月小学校の敷地内に雨水の貯留施設を整備していただいたが、市においては、引き続き、総合的な治水対策の検討をお願いしたい。</p>

提出課題についての市の方針等 3

<p>地域課題</p>	<p>鞍月校下（近岡町、御供田町、直江町地域）の治水対策について</p>
<p>提案・提言等</p>	<p>局地的豪雨が頻発するなど、大規模水害の発生可能性が高まる中、鞍月校下（近岡町、御供田町、直江町地域）における治水対策は、地域の喫緊の課題であり、総合的な治水対策を検討していただきたい。</p>
<p>市の方針等</p>	<p>この地区は、浸水被害が発生しやすいことから、市内でも重点的に対策すべき地区であると考えており、対策の一つとして、鞍月小学校に大型の地下貯留施設を整備し、この2月に供用を開始した。7月、8月の大雨時には、6回稼働しており、これにより浸水被害は軽減されたと考えている。</p> <p>また、直江地区における雨水幹線の整備、弓取川の河川改修を実施しているとともに、「大野川左岸地区雨水貯留施設基本構想」に基づく小規模な地下貯留施設の設置を計画しているところであり、引き続き、総合的な治水対策に取り組んでいくこととしている。</p>
<p>担当課</p>	<p>内水整備課 電話 220-2341</p>

提出課題一覧表 4

町会連合会名	諸江地区町会連合会
共通課題	抜本的な水害対策の実施について
意見、質問の内容	<p>諸江、浅野川、鞍月校下は、比較的海抜が低く、浅野川、大野川、弓取川に隣接しており、市内でも水害の恐れが多い地域のひとつである。</p> <p>これまで県や市に対して、陳情を重ねてきた結果、県においては、大野川下流の河川改修事業を行い、市においては、大野川の逆流防止型水門の設置や排水ポンプによる強制排水を行っていたところである。</p> <p>しかし、最近では、局地的な豪雨や降水時間が長期化するケースが増えているため、大規模水害が発生する可能性は高まっている。災害発生時には、地域全体に大きな被害が発生することが予想されることから、治水対策は、地域の喫緊の課題となっている。</p> <p>地域としては、市のみならず、県、国の支援による抜本的な解決策の実施を強く望んでいるので、市が旗手となり、県、国を巻き込み、地域住民が安心して暮らせるまちづくりを推進していただきたい。</p>

提出課題についての市の方針等 4

共通課題	抜本的な水害対策の実施について																								
意見・質問等	<p>地域としては、市のみならず、県、国の支援による抜本的な解決策の実施を強く望んでいるので、市が旗手となり、県、国を巻き込み、地域住民が安心して暮らせるまちづくりを推進していただきたい。</p>																								
市の方針等	<p>本市では、浅野川水害を踏まえ、平成21年度に制定した「金沢市総合治水対策の推進に関する条例」に基づき、総合治水対策を推進するために、国等の関係団体に対し、協力を要請するとともに、河川改修の期成同盟会等を通して国・県に予算確保などの要望を行っている。</p> <p>今後も引き続き、総合治水対策に基づき、県・市が連携し、安全で安心なまちづくりを推進してまいりたい。</p> <p>万一、大規模水害が発生したときは、地元住民の皆様の自助・共助によるご協力もお願いしたいと考えている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(参考) 諸江・浅野川・鞍月地区における主な水害対策（平成24年度以降）</p> <p>1 ハード面における水害対策</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>①弓取川改修に伴う樋管築造工事（N＝1基）</td> <td style="text-align: right;">約 4,800万円</td> <td style="text-align: right;">H24</td> </tr> <tr> <td>②問屋雨水幹線築造工事（L＝270m）</td> <td style="text-align: right;">約 14,100万円</td> <td style="text-align: right;">H26～H27</td> </tr> <tr> <td>③鞍月小学校地下貯留施設設置工事（V＝4,930 m³）</td> <td style="text-align: right;">約 79,400万円</td> <td style="text-align: right;">H27～H28</td> </tr> <tr> <td>④三口雨水幹線築造工事（L＝250m）</td> <td style="text-align: right;">約 9,300万円</td> <td style="text-align: right;">H28～H29</td> </tr> <tr> <td>⑤弓取雨水幹線築造工事（L＝30m N＝1基(樋管)）</td> <td style="text-align: right;">約 7,100万円</td> <td style="text-align: right;">H28～H29</td> </tr> <tr> <td>⑥弓取川改修事業（L＝908m）</td> <td style="text-align: right;">約 61,000万円</td> <td style="text-align: right;">H25～H29</td> </tr> </table> <p>2 ソフト面における水害対策</p> <p>①水防訓練 H28.5.15 自主防災会ほか約360名参加（鞍月、栗崎校下）</p> <p>②水防出前講習会</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>H25 160名（弓取町、大河端町）</td> <td>H26 110名（問屋新町、浅野川校下）</td> </tr> <tr> <td>H27 50名（御供田町）</td> <td>H28 30名（弓取町）</td> </tr> <tr> <td>H29 70名（割出町、大河端町、問屋新町）</td> <td></td> </tr> </table> </div>	①弓取川改修に伴う樋管築造工事（N＝1基）	約 4,800万円	H24	②問屋雨水幹線築造工事（L＝270m）	約 14,100万円	H26～H27	③鞍月小学校地下貯留施設設置工事（V＝4,930 m ³ ）	約 79,400万円	H27～H28	④三口雨水幹線築造工事（L＝250m）	約 9,300万円	H28～H29	⑤弓取雨水幹線築造工事（L＝30m N＝1基(樋管)）	約 7,100万円	H28～H29	⑥弓取川改修事業（L＝908m）	約 61,000万円	H25～H29	H25 160名（弓取町、大河端町）	H26 110名（問屋新町、浅野川校下）	H27 50名（御供田町）	H28 30名（弓取町）	H29 70名（割出町、大河端町、問屋新町）	
①弓取川改修に伴う樋管築造工事（N＝1基）	約 4,800万円	H24																							
②問屋雨水幹線築造工事（L＝270m）	約 14,100万円	H26～H27																							
③鞍月小学校地下貯留施設設置工事（V＝4,930 m ³ ）	約 79,400万円	H27～H28																							
④三口雨水幹線築造工事（L＝250m）	約 9,300万円	H28～H29																							
⑤弓取雨水幹線築造工事（L＝30m N＝1基(樋管)）	約 7,100万円	H28～H29																							
⑥弓取川改修事業（L＝908m）	約 61,000万円	H25～H29																							
H25 160名（弓取町、大河端町）	H26 110名（問屋新町、浅野川校下）																								
H27 50名（御供田町）	H28 30名（弓取町）																								
H29 70名（割出町、大河端町、問屋新町）																									
担当課	内水整備課 電話 220-2341																								

提出課題一覧表 5

町会連合会名	諸江地区町会連合会
共通課題	高齢者の通院や買い物などの交通手段の確保について
意見、質問の内容	<p>高齢者の通院や買い物に必要な移動手段は、本人又は同居家族のマイカーによって支えられてきたが、高齢者本人による運転免許証の自主返納の増加や、少子高齢化・核家族化の進展に伴う高齢者の一人暮らしの増加により、その確保が困難になってきている。</p> <p>また、高齢者がマイカーの代わりに、公共交通を利用しようとしても、路線バスの停留所、浅野川線の駅へ行くためには、相当な距離を歩かなければならない地域もあり、公共交通の利用については消極的なのが現状である。</p> <p>高齢者の通院や買い物の利便性を高めるために、地域のニーズに合わせた交通手段が必要であると考えており、今後、地域で運営するバスやジャンボタクシー等の導入を検討していきたい。</p> <p>地域運営バス等の導入にあたっては、「金沢市郊外地域運営バス等運航費補助制度」について、市による地元説明会の開催をお願いしたいとともに、本格運行に向けた地元意見の集約、運行計画に関する資料作成及び導入にあたっての運行実験について、市と連携して取り組んでいきたい。</p>

提出課題についての市の方針等 5

共通課題	高齢者の通院や買い物などの交通手段の確保について
意見・質問等	<p>地域で運営するバスやジャンボタクシー等の導入を検討したいが、助成制度等について市による地元説明会の開催や導入に向けた運行実験等について市と連携して取り組んでいきたい。</p>
市の方針等	<p>郊外の交通不便地域については、地域住民が主体となって運営するバスやジャンボタクシー等の運行に対し、経費の一部を補助しており、現在、内川地区と大浦・川北地区の2地区が、本制度を活用して、バス等を運行している。</p> <p>ご提案いただいたとおり、まずは、地域における公共交通の実情の把握や本制度の内容をご理解いただく勉強会を開催し、地域の方々の意見をお聞きしながら、進めてまいりたい。</p> <p>また、平成28年度から、運行計画等の策定を手助けするアドバイザーの派遣や運行実験実施に対する経費を補助する制度を新設したところであり、議論が進みましたら、本制度の活用も視野にご相談させて頂きたい。</p>
担当課	交通政策課 電話 220-2038